

## 日帰り修学旅行～奈良編～ (6年の学級通信 12月2日発行より)

### 東大寺・奈良公園

入ってまず思ったことは「広い」です。東大寺は私たちが思っていた以上に広く、大きかったです。その中でひととき目立っていたのは、やっぱり東大寺の大仏でした。大きな大仏のまわりを小さな大仏がとり囲んでいて、とても偉大な存在だということが一目で分かりました。東大寺の大仏殿のような国宝の建物に入ることは、とても貴重な体験なので、忘れないようにしようと思いました。

東大寺を見学して、歴史で言われた時、大きさが分からなかった大仏や金剛力士像の大きさが、想像をはるかに超えていました。日本の奈良時代、鎌倉時代の建築に驚きました。

6号車のバスの中で〇〇先生が、「知らない人も多いらしいけど、東大寺には動物の像もいるから探してみてね。」みたいなことをおっしゃっていたので、探してみました。なんと、それは蝶でした！「神様に仕えているから、足が8本なんだよ」と東大寺の方が言っていました。蝶はとてもきれいでした。大仏も大きく、これを昔に作ったのはすごいなと思いました。

私は、思っていたより大仏様が大きくて、大仏様の洋服？のところ为本物の布っぽくてびっくりしました。大仏様の後ろは、雲が書いてあって「雲の上の存在」というのを表しているかな？と思いました。さらに「大仏様はなぜ、はすの花の上に座っているか」「大仏様の後ろにはなぜ小さいお地蔵様？がいつぱいいるのか」「なぜ、ひたいに点？があるのか」とたくさんの疑問があつて面白かったです。



昆虫の足は6本  
ですが・・・

## 平城宮跡歴史公園

想像とは異なり、歩く距離が長かった。ただこれは、平城京のごく一部であることにさらに驚かされました。朱雀門は遠くから見ても大きくて、あれは朱雀門だなあと分かるくらいでした。見た目は、上は大きいのに、下は柱だけで一見バランスがかたよって倒れそうでハラハラしました。

私が今回一番面白かったのは、朱雀門の前の平地です。普通に、運動場よりやや大き目ぐらいの広さがあって、先生が走りたくなるって言っていたので、走りそうになりました。でも、ただの平地かと思ったら、儀式をする場所と知って驚きました。

いざない館では、釘などを使わない建物の方法がすごかった！木と木を組み合わせるので、釘みたいにさびて建物が壊れることもないそうです。昔、釘がない時代はこうして1つ1つ建物をつくっていたんだなあと思いました。



6年生のみんなのつぶ  
やきが面白い！！



沖野校長より  
コメント

教室での学びも大切ですが、それ以上に、自分の目で見て、自分の足で調べることができとてもダイナミックな学びになったようですね。

教室での学びを大切にしているからこそ、たくさんの面白い「はてな？」を抱くことが出来たのではないのでしょうか。

「はてな？」をぐんぐん追究していきたくになりますね！

「歴史とは現在と過去との対話である」(E.H.カー)と言われます。6年生のみんなは、この日帰り修学旅行①で、奈良時代という過去としっかり対話することができ、深い学びにつながったようですね！

友だちとの  
思い出もできて  
よかった！！